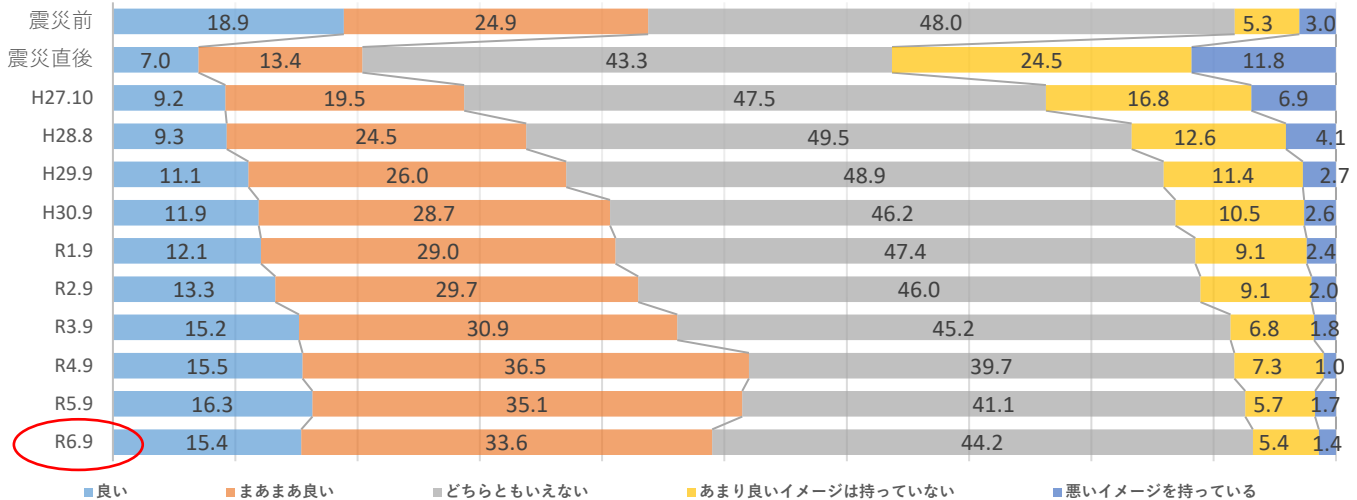


風評・風化対策関連指標の現状（令和6年度）

＜主要指標＞ 「ふくしまに良いイメージを持っている人の割合」

福島県に対する**良いイメージを持つ層**（「良い」と「まあまあ良い」の合計）は**49.0%**で目標値（50%）を下回る一方、**悪いイメージを持つ層**（「悪い」と「あまり良いイメージは持っていない」の合計）が**減り**、「**どちらともいえない**」層が増加してきていることから、**本県への関心度が低下する「風化」が進んでいる**と考えられる。

このため、国、市町村、関係団体との連携を強化し、福島の正しい姿や魅力を積極的に発信し、本県への共感を深めていただきながら、本県のイメージ向上を図っていく。



＜関連事業＞

（出典：風評・風化に関する情報発信分析事業）

チャレンジふくしま戦略的情報発信事業（広報課）、まるごとふくしまウィーク事業（風評・風化戦略室）、県産品振興戦略実践プロジェクト（県産品振興戦略課）

＜補完指標＞

「外国人宿泊者数」が過去最高となるなど、観光客入込数、宿泊者数の回復が見られる一方、「県産農産物価格」（一部）は原発事故前を下回るなど、根強い風評が残っている。

県産農産物価格の回復状況（米） ※県産米取引価格の全国平均価格に対する割合。震災・原発事故前（H22）の割合を100とした場合の水準。	現況値（R4年）	95.56
	目標値（R12年）	100
県産農産物価格の回復状況（もも） ※県産もも取引価格の全国平均価格に対する割合。震災・原発事故前（H22）の割合を100とした場合の水準。	現況値（R6年）	93.68
	目標値（R12年）	100
県産農産物価格の回復状況（牛肉） ※県産牛肉取引価格の全国平均価格に対する割合。震災・原発事故前（H22）の割合を100とした場合の水準。	現況値（R6年）	95.16
	目標値（R12年）	100
県産品輸出額	現況値（R5年度）	1,339百万円
	目標値（R12年度）	2,000百万円
観光客入込数	現況値（R5年）	53,923千人
	目標値（R12年）	60,000千人
外国人宿泊者数	現況値（R5年）	179,180人泊
	目標値（R12年）	300,000人泊

＜関連事業＞

県産品風評対策事業（県産品振興戦略課）、ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業（農産物流通課）、ホープツーリズム運営・基盤整備事業、福島インバウンド復興対策事業（観光交流課）

令和7年度当初予算における風評・風化対策の全体像

< 令和7年度当初予算15,743百万円 >



- ふくしまに対するイメージに「どちらともいえない」とする人の割合が増加するなど、本県への関心度が低下する「風化」が進んでいる。一方で、観光や教育旅行の宿泊者数、一部の農産物の価格は原発事故前の水準に回復していないなど、依然として根強い風評が残っている。また、長期にわたる廃炉等により、新たな風評が生じる懸念もある。
- このため、風評・風化対策強化戦略の下、国、市町村、関係団体との連携を強化し、本県の魅力と正確な情報を国内外へ積極的に分かりやすく発信するとともに、事業者への強力な支援、県外への語り部派遣の拡充等に取り組み、県産品や地域の魅力、震災の記憶や福島復興の現状が着実に多くの方々に伝わり、本県への共感の輪が更に広がるよう取り組んでまいる。
- また、国に対しては、国、県、市町村、関係団体それぞれ、並びに県と市町村等が連携して取り組む対策などに、十分な財源を確保するよう強く求めてまいる。

令和7年度 風評・風化対策主要事業

県産品の販路回復・開拓

○ 県産品風評対策事業

(県産品振興戦略課) **66,663千円**

輸入規制が撤廃された米国やEU等において、県産酒及び県産米を中心としたプロモーション等を実施し、安全性やおいしさを全世界に発信。

○ 福島県産水産物競争力強化支援事業

(水産課) **565,000千円**

水産物のエコラベルの取得や高鮮度出荷体制の整備、量販店への販路確保の取組等を支援。

○ ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業（「ふくしま」ブランド拡大推進対策）

(農産物流通課) **824,465千円**

「ふくしま」ならではのブランド力の向上と、「オールふくしま」での販路拡大に取り組む。

○ 県産品振興戦略実践プロジェクト

(県産品振興戦略課) **85,523千円**

ふくしま応援シェフ、県観光物産交流協会等と連携し、県産品の情報発信と海外販路拡大に取り組む。

観光誘客の促進

○ ホープツーリズム運営・基盤整備事業

(観光交流課) **216,659千円**

ホープツーリズムのコンテンツ等の情報を集積した総合窓口等の運営、観光客向けの情報発信を行う。

○ 福島インバウンド復興対策事業

(観光交流課) **356,577千円**

海外向けのSNSによる情報発信の強化やインバウンドビジネス向けのセミナーの開催等による受入体制の強化など、戦略的なインバウンド誘致を展開。

○ 教育旅行復興事業

(観光交流課) **288,942千円**

県外の学校へのバス経費補助や探究学習プログラム磨き上げのためのモニターツアー、合宿の誘致強化支援、学校や旅行会社への継続的な営業を実施。

○ ふくしまデスティネーションキャンペーン事業

(観光交流課) **555,235千円**

プレDC (R7.4~6月) の開催、本番DCに向けた取組など、官民一体で更なる誘客を図る。

国内外への正確な情報発信

○ チャレンジふくしま戦略的情報発信事業

(広報課) **456,552千円**

市町村、企業、大学等との連携・共創、様々な媒体等によりふくしまの今と魅力を強力に発信。

○ 風評・風化対策強化事業

(風評・風化戦略室) **101,641千円**

首都圏や西日本等において、市町村等と連携し、ふくしまの今と魅力を強力に発信。

○ 東京2025デフリンピック関連復興推進事業

(スポーツ課) **84,488千円**

来県する世界各国の選手団へのおもてなし等を通じて、本県の復興状況や魅力を国内外に発信。

○ 次世代へつなぐ震災伝承事業

(生涯学習課) **24,992千円**

語り部団体等の連携強化や、人材育成、県外等への語り部派遣を行う。

○ 大阪・関西万博を活用した風評払拭事業

(観光交流課) **63,528千円**

国内外の来場者へ福島現状を正しく伝える。

土台となる取組

○ 緊急時・広域環境放射能監視事業 (原子力防災課) **66,983千円**

原発事故に伴う放射性物質の拡散に対する環境監視を行うとともに、測定結果を広く公表し、正確で分かりやすい情報発信に努める。

○ 食の安全・安心推進事業 (消費生活課) **89,825千円**

原発事故の影響を踏まえ、放射能や食の安全性をテーマとした説明会等を実施し、消費者の理解促進を図る。



令和7年度福島県風評・風化対策主要事業スケジュール

※ 本スケジュールは、変動する場合があります。
 ※ 緑ラインの事業は、通年で切れ目無く取り組むものです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県産品の 販路回復 ・開拓	おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン					
	社員食堂への県産水産物の提供（4月～）	Jヴィレッジにおけるプロスポーツチーム等への県産農林水産物等の提供（5月～）	産地市場朝市の開催支援（6～12月）	市場トップセールス	ふくしまプライドフェア	台湾における県産農産物の魅力発信 米産地視察ツアー
	「ふくしまプライド。」夏季CM 産地視察ツアー（8月～秋冬にかけて） 海外における県産農産物販売拡大のためのプロモーション（8～2月）					
	オンラインストア（楽天、Amazon、Yahoo!）による県産品の販売促進					
	GAP産地情報・HACCP情報公開 / 食品放射性物質モニタリング結果公表 / 第三者認証水産工コラベル等取得支援					
	日本橋ふくしま館MIDETTEでのPRイベント、企業マルシェや各種イベントでの外販					
	首都圏量販店等への県産魚情報発信コーナーの設置					
観光誘客	県内自然の家を活用したアクティビティイベント（年6回） 只見線列車内でのおもてなし（～2月）	只見線を活用した学習旅行（～12月） 只見線周遊ツアー、パークアンドライドバス（～2月）	交流サイクリングツアー 企画列車の運行（～11月） 福島空港就航先AGT招請（1回目）	ウルトラふくしまの開催（～11月） ふくしま尾瀬フォトコンテスト（～10月） 越後三山只見国立公園奥会津ビジターセンター1周年記念イベント	相双地域魅力体感モニターツアー（1回目） ふくしま尾瀬登山道整備ツアー（年3回）	相双地域魅力体感モニターツアー（2回目） フットバスモニターツアー（1回目）（仮） 福島空港 空の日フェスティバル
	海外現地窓口からの観光情報発信					
	ホープツーリズム推進 / エクストリームツーリズムブランド周知拡大 / コンテンツ磨き上げ・情報発信 / 県内教育旅行に対する支援 / ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進					
	ブレDC開催			DCに向けたコンテンツ磨き上げ・情報発信		
	ふくしまフェスタ（年3回予定） 猪苗代湖ラムサール条約湿地登録デジタル情報発信（国内外） TOKYO TORCH（マルシェイベント）1～3回目					
	まるごとふくしまウィークの開催（東海圏） 魅力発信イベント（名古屋市） ふくしま元気創造・発信イベント（想定） 福岡県における発信 まるごとふくしまウィークの開催（首都圏） 大阪・関西万博（東北六県連携出展） 大阪・関西万博（県単出展） 西日本等大学生スタディツアー ジャーナリストスクール開催					
	あづま球場への各種大会の誘致活動					
情報発信	復興情報ポータルサイトによる国内外への情報発信					
	次世代へつなぐ震災伝承事業					
	常盤橋情報発信					
	震災学習・高校生語り部の人材育成・県内外及び海外の高校生等との交流					
	ふくしまの漁業の魅力体感・発信					
	包括連携協定締結企業等と連携した情報発信					
	除去土壌等の輸送や貯蔵等に係る状況確認結果の公表					
	ふくしまぐらし相談センター（東京）の運営 / 移住・定住の推進					
	福島空港におけるチャーター便空港ウェルカム、バックヤードツアー等による賑わいづくり・情報発信					
	国内外へのフェイスブック、インスタグラム、YouTube、Twitter等のSNSを活用した情報発信					
	在外県人会・在外公館と連携した情報発信					
	県スローガン・県公式イメージポスター・ふくしままつ等を活用した情報発信					



令和7年度福島県風評・風化対策主要事業スケジュール

※ 本スケジュールは、変動する場合があります。
 ※ 緑ラインの事業は、通年で切れ目無く取り組むものです。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
県産品の 販路回復 ・開拓	おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン 飲食店・量販店販促プロモーション（ニューヨーク・カリフォルニア） マッチング商談会 「ふくしまプライド。」秋季CM ふくしまプライドフェア、福、笑いフェア			おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン 相双地域魅力発信物産イベント（2回目） 香港における県産農産物の魅力発信 「ふくしまプライド。」食の交流会 ふくしまプライドフェア						
	オンラインストア（楽天、Amazon、Yahoo!）による県産品の販売促進									
	GAP産地情報・HACCP情報公開 / 食品放射性物質モニタリング結果公表 / 第三者認証水産工コラベル等取得支援									
	日本橋ふくしま館MIDETTEでのPRイベント、企業マルシェや各種イベントでの外販									
	首都圏量販店等への県産魚情報発信コーナーの設置									
観光誘客	フットバスモニターツアー（2回目） 越後三山只見国定公園アウトドアフェスティバル ふくしま浜通り観光交流フェスティバル			フットバスモニターツアー（3回目）						
	相双地域魅力体感モニターツアー（3回目） 中国・香港・韓国向けファミツアー（AGT、インフルエンサー）			相双地域魅力体感モニターツアー（4回目） 福島空港就航先AGT招請（2回目）						
	海外現地窓口からの観光情報発信									
	ホープツーリズム推進 / エクストリームツーリズムブランド周知拡大 / コンテンツ磨き上げ・情報発信 / 県内教育旅行に対する支援 / ふくしま浜通りブルー・ツーリズム推進									
	DCに向けたコンテンツ磨き上げ・情報発信									
情報発信	ふくしまフェスタ2回目、3回目 チャレンジふくしまフォーラム 八重山産業まつりへの出展 首都圏イベント等と連携したジャック広告発信(年3回予定)		東京2025デフリンピックサッカー競技Jヴィレッジ開催 ふくしまグリーン復興構想シンポジウム ラジオイベント（大阪） ロボット・航空宇宙フェスタふくしま		TOKYO TORCH（マルシェイベント）4回目 福岡県における発信		関西飲食店コラボ事業 ふくしま尾瀬首都圏プロモーション		ふくしま復興を考える県民シンポジウム 東日本大震災追悼復興祈念式 キャンドルナイト	
	あづま球場への各種大会の誘致活動									
	復興情報ポータルサイトによる国内外への情報発信									
	次世代へつなく震災伝承事業 常盤橋情報発信									
	震災学習・高校生語り部の人材育成・県内外及び海外の高校生等との交流									
	ふくしまの漁業の魅力体感・発信									
	包括連携協定締結企業等と連携した情報発信									
	除去土壌等の輸送や貯蔵等に係る状況確認結果の公表									
	ふくしまぐらし相談センター（東京）の運営 / 移住・定住の推進									
	福島空港におけるチャーター便空港ウェルカム、バックヤードツアー等による賑わいづくり・情報発信									
	国内外へのフェイスブック、Instagram、YouTube、X等のSNSを活用した情報発信									
	県スローガン・県公式イメージポスター・ふくしままっぶ等を活用した情報発信									
	在外県人会・在外公館と連携した情報発信									